

第5次東郷町総合計画(2011～2020)の達成状況(総括表)

基本目標	基本施策	①目標指標の達成状況					②施策の推進状況					③住民意向調査結果(平成30年度実施)				総合評価 (12点満点)	順位 (全34位)	
		各達成度の指標数				評価点の 平均値	各達成度の施策の展開方向の数				評価点の 平均値	満足度		満足度の評価点				評価点の 平均値
		◎	○	△	×		A	B	C	D		取り組み1	取り組み2	取り組み1	取り組み2			
I 健康で元気に暮らせるまち	1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する	1		2	2	2.0	8	8			3.5	0.27	—	4	—	4.0	9.5	6
	2 安心して医療を受けられる体制をつくる		1	1		2.5	6	1			3.9	-0.39	—	1	—	1.0	7.4	21
	3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる	1		1		3.0	1	6	1		3.0	0.00	—	3	—	3.0	9.0	8
	4 社会保障制度を適切に運用する			1	1	1.5	10	2			3.8	-0.02	—	2	—	2.0	7.3	23
	5 福祉サービスを充実するとともに地域との連携を図る	1			2	2.7	5	7	1		3.3	0.04	—	3	—	3.0	9.0	10
	6 安心して子育てができる環境をつくる	1		1	1	2.3	8	3			3.7	0.23	—	4	—	4.0	10.1	2
II 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち	1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る			2	1	1.7	5	6			3.5	0.08	—	4	—	4.0	9.1	7
	2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する	1		2	1	2.3		5	1	2	2.4	0.06	—	3	—	3.0	7.6	18
	3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む	1		1	1	2.3	1	3	1		3.0	0.06	—	3	—	3.0	8.3	15
	4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える		2		1	2.3	1	4			3.2	0.13	—	4	—	4.0	9.5	5
	5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する		1		2	1.7	4	4	1		3.3	0.04	—	3	—	3.0	8.0	16
	6 多文化の人々が共生できる社会をつくる			1	2	1.3	3	4	1		3.3	-0.11	—	2	—	2.0	6.6	33
	7 青少年の健全な育成を進める	1		1		3.0	2	1			3.7	0.02	—	3	—	3.0	9.7	4
III 参画と協働で自立するまち	1 まちづくりに参加できる仕組みづくり、協働のまちづくりを進める			1	2	1.3	3	8	2		3.1	-0.01	—	2	—	2.0	6.4	34
	2 男女それぞれの個性や能力を生かせる社会をつくる		1	1	1	2.0	2	4	1		3.1	-0.02	—	2	—	2.0	7.1	28
	3 町民・行政相互の情報共有を推進する	1		2		2.7	1	4			3.2	-0.05	—	2	—	2.0	7.9	17
	4 効率的な行政運営を進める	1	1		1	2.7	3	7			3.3	0.32	-0.08	4	2	3.0	9.0	11
	5 広域連携の強化を進める	1			1	2.5	5	2			3.7	-0.15	—	1	—	1.0	7.2	25
	6 財政の健全化を進める	2	1	2		3.0	5	3			3.6	-0.14	—	1	—	1.0	7.6	18
IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち	1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する			1	2	1.3	3	7		1	3.1	0.54	—	4	—	4.0	8.4	14
	2 犯罪や交通事故の少ない安全なまちをつくる	1	1	2		2.8	4	2			3.7	0.17	0.06	4	3	3.5	9.9	3
	3 災害に強いまちをつくる	1		2	1	2.3	8	5			3.6	0.02	—	3	—	3.0	8.9	12
	4 安心して消費生活が送れる体制を整える	1		1		3.0	4				4.0	-0.01	—	2	—	2.0	9.0	8
	5 人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる		1	1	2	1.8	1	9			3.1	-0.01	0	2	3	2.5	7.4	22
	6 地球温暖化の防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換を進める		1	1	1	2.0	2	3			3.4	-0.02	—	2	—	2.0	7.4	20
	7 資源を大切に、環境負荷の少ないまちをつくる		1		2	1.7		5			3.0	0.4	—	4	—	4.0	8.7	13
V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち	1 地産池消により農業の活性化を目指す		1	1	3	1.6		7			3.0	0.03	-0.03	3	2	2.5	7.1	29
	2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める	1	1	1		3.0	1	3		1	2.8	-0.15	-0.18	1	1	1.0	6.8	32
	3 魅力ある市街地を整備する			3		2.0	3	1	2		3.2	-0.06	—	2	—	2.0	7.2	27
	4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる		1		2	1.7	7	2	1		3.6	-0.02	—	2	—	2.0	7.3	24
	5 美しい街並み景観のあるまちをつくる		1			3.0	1	5	1		3.0	-0.17	—	1	—	1.0	7.0	30
	6 安心して通行できる道路網を整備する	2			1	3.0	3	7	1		3.2	-0.33	—	1	—	1.0	7.2	26
	7 公共交通の利便性を高める		1		1	2.0	5	1			3.8	-0.57	—	1	—	1.0	6.8	31
	8 安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める	2			1	3.0	1	4			3.2	0.13	—	4	—	4.0	10.2	1

【点数の配分について】 ①目標指標の達成状況の評価点

◎	4点
○	3点
△	2点
×	1点

②施策の推進状況の評価点

A	4点
B	3点
C	2点
D	1点

③住民意向調査結果の評価点

0.07以上	4点
0.00～0.07	3点
-0.11～0.00	2点
-0.11以下	1点

※中央値を閾値とした

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

I 健康で元気に暮らせるまち

1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分

- ◎: 令和2年度目標数値達成
- : 平成27年度中間目標達成
- △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×: 現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 健康づくりなどの保健事業に満足している町民の割合	%	22.5	28.0	33.0	33.8	-	50.2%	102.4%	◎		
ii 地区の健康講座参加者数	人	1,288	1,700	2,200	1,982	0	-100.0%	0.0%	×		
iii 胃がん検診受診率	%	8.3	30.0	50.0	13.7	8.9	7.2%	17.8%	△		
iv 乳がん検診受診率	%	25.7	40.0	50.0	28.1	7.9	-69.3%	15.8%	×		
v 午後9時前に就寝する子どもの割合	%	27.5	40.0	50.0	27.9	34.1	24.0%	68.2%	△		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分

- A: 十分に達成している
- B: まあまあ達成している
- C: あまり達成していない
- D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 一次予防の推進	◇ イーストプラザいこまい館を拠点に、健康情報を発信するとともに、健康づくりの場を提供することで健康づくりを総合的に支援します。	健康推進課	健康づくりの場として、トレーニングジムを始め、ランチルームの活用、健康づくりリーダーによる健康教室など、身近に健康づくりに取り組めるよう環境を整えました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いこまい館の休館などがあり、健康づくりの拠点としての役割が縮減してしまいました。	B
	◇ ライフステージ(胎児・幼児期から高年期まで)ごとの健康課題に対する相談体制の充実など積極的に健康づくりや一次予防対策に取り組めます。	健康推進課	母子健康包括支援センターを開設しました。すべての妊婦に対してマタニティコールを、産後はハッピーコール全家庭に赤ちゃん訪問を実施しました。健診や相談事業にて個別支援を行い、切れ目ない支援を実施しました。	A
(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進	◇ 町民が地域で主体的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進します。	健康推進課	自治会等の要望により地区の健康講座を開催しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施回数は減少しました。	B
	◇ 健康や生活習慣に関わる様々な関係者・関係団体がそれぞれの特性を生かしながら地域での健康づくりを支援します。	健康推進課	いきいきとうごう健康マイレージを通じ、町民、地域、事業所などが賛同し、町全体で健康づくりを推進する取組を行いました。	A
	◇ 地域での健康づくりを推進するボランティアの活動を支援します。	健康推進課	食生活改善推進員の育成を行いました。健康づくりリーダーの活動として、健康体操教室を周知し実施協力しました。	A
(3) 予防対策の充実及び長寿社会に対応した保健体制の確立	◇ 乳がん自己検査法や子宮頸がん予防ワクチンを始め、がん予防に関する正しい知識の普及に努めます。	健康推進課	受診勧奨通知やいこまい館内に乳がん自己検査法のポスターを掲示し周知に努めました。子宮頸がんワクチンについては、国より定期接種の1つで、助成対象であることを周知するよう通知があったため、令和2年度対象年齢の方に対しリーフレット等の送付を行いました。	A
	◇ がん検診の受診を促進し、早期発見・早期治療を支援します。	健康推進課	個別受診勧奨や公共施設・医療機関等にごがん検診のポスターを掲示し受診勧奨に努めました。また、検診受診者のうち要精密検査者に対して病院受診を促し、早期発見・早期治療の支援を実施しました。	A
	◇ メタボ予防健診の受診を促進し、結果に応じて生活習慣の改善や悪化を防ぐための援助をします。	健康推進課	個別勧奨や乳幼児健診時等にポスターを掲示し周知しました。健診結果は個別対応するため、結果説明会を実施しました。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。)	B
	◇ うつ病を予防するため、事業所などと連携して、メンタルヘルスに関する取組を促進します。	健康推進課	「からだ・こころの健康相談」を毎週月曜日に、電話相談は随時実施しました。自分で心の健康状態を知ることができる「こころの体温計」を町のホームページにて周知し、健康状態に合わせ相談窓口の紹介等を実施しました。	B
(4) 感染症予防の推進	◇ 予防接種に関する正しい知識の普及を図り、接種率の向上に努めます。	健康推進課	適切な時期に接種できるよう個別通知を実施しました。	A
	◇ 感染症予防についての正確な情報提供と意識啓発に努めます。	健康推進課	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のための情報をホームページやチラシにより周知しました。	A
(5) 食育の推進	◇ 健康づくりセンターや児童館等において食育事業を実施し、子どもの成長過程における食生活や食習慣の大切さについて啓発します。	健康推進課	食生活改善推進員が町内保育園を訪問し、食育に関する塗り絵を園児に配付し、啓発を行いました。	A
	◇ 保育課程における食育計画に基づき、食に対する関心が高まるようにします。	こども保育課	園庭での野菜づくりなどを実施しました。	B
	◇ 学校給食を活用した食に関する指導を実施し、学校における食育の推進を図ります。また、給食への地場産物の活用を推進します。	給食センター	小中学校、保育園において、栄養教諭、栄養士による栄養指導を行いました。また、給食で使用する地元食材の種類、提供回数の増加に努めました。	B
	◇ 「早寝・早起き・朝ごはん運動」を積極的に推進します。	学校教育課	「早寝・早起き・朝ごはん運動」を継続的に実施しました。	B
	◇ 自然の恩恵に感謝し、食に関わる活動への理解を深めるために、学校等において農作業体験を進めます。	学校教育課	「総合的な学習の時間」「生活科」「特別活動」等を通して、学校の現状に合わせて、農業体験を進めました。また、道徳等において、自然の恩恵に感謝する気持ちを高めました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

I 健康で元気に暮らせるまち 2 安心して医療を受けられる体制をつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 夜間や休日の医療体制に満足している町民の割合	%	8.7	14.0	19.0	15.5	-	78.2%	81.6%	○		
ii 検診専門医療機関数	人	1	2	3	1	1	0.0%	33.3%	△		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 救急医療体制の充実	◇ 休日急病診療について、情報提供に努めるとともに、救急医療情報システムの活用について周知を図ります。	健康推進課	救急医療情報システムが十分に発揮できるよう、町民へ利用方法について広報等で周知したことにより達成しました。	A
	◇ 第1次救急医療機関を担う休日急病診療所の役割を周知し、適切な受診を促進します。	健康推進課	新型コロナウイルス感染症による受診控えやインフルエンザの流行がなかったため、令和2年度の利用者は減少しました。広報等で休日急病診療所を周知するため冊子を全戸配布しました。	B
	◇ 愛知県に対し、第2次救急病院の整備・充実を求めていきます。	健康推進課	平成25年4月から日進おりど病院と旭労災病院を指定病院とする体制を維持したことにより達成しました。	A
(2) 地域医療の充実	◇ 地域で安心して生活が送れるように福祉関係者と協力して、支援します。	東郷診療所	包括支援センターや介護支援専門員と連携して、住み慣れた地域で暮らせるよう、医療を必要とする町民を支援しました。	A
	◇ 多様化する医療需要に対応するため、地域医療機関(周辺市医療機関を含む。)と連携強化を図ります。	東郷診療所	藤田医科大学を始めとする医療機関と連携し、専門医へつなげました。	A
	◇ 高齢社会の到来による在宅医療及び介護の需要に対応するため、地域医療機関との連携により訪問看護の充実を図ります。	東郷診療所	主治医からの指示書に基づき、訪問看護を提供しました。東郷診療所は入院病床を持たないため、夜間や24時間体制は難しい中、医療依存度の軽い方への訪問回数の増や時間延長などサービスの充実を図りました。	A
(3) かかりつけ医制度の推進	◇ かかりつけ医を持つことで、気軽に健康相談や生活指導が受けられ、病気の重症化や慢性化を防ぐことができることを啓発するとともに、かかりつけ医の紹介を行います。	東郷診療所	特定健診の結果説明の際に、引き続き医療が必要な方には、かかりつけ医への受診を勧めました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

I 健康で元気に暮らせるまち 3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 障がい者への福祉サービスに満足している町民の割合	%	12.0	17.0	22.0	12.3	-	2.5%	55.9%	△		
ii 指定相談支援事業相談件数	件	0	245	298	515	639	-	214.4%	◎		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 障がい者福祉サービスの充実	◇ 自立支援協議会の充実を図り、個別の支援における工夫や明確になった解決すべき地域の課題を共有し、障がい者福祉サービスの向上につなげます。	福祉課	令和2年4月に設置した障がい者基幹相談支援センターを中心に、自立支援協議会を充実するとともに、ケース会議を開催するなど関係機関との連携強化を図りました。	B
	◇ 障がい者やその家族の経済的負担の軽減を図るため、各種助成制度を実施します。	福祉課	障がいのある人が制度を活用しやすいよう、各種助成等の制度について、ホームページや窓口で周知を行い、新規の障害者手帳取得者には、手帳の内容に応じた各種助成制度の内容について案内しました。	B
(2) こころのバリアフリー化	◇ 障がい者理解のための講演会や交流会の実施など、障がい者に対する誤解や偏見を是正するための啓発活動を行います。	福祉課	障がいのある人もない人も参加できる、とうごう体操まつりや、絵画展を実施することで、障がいのある人の社会参加や自己実現を促進するとともに、障がいのない人の障がいに対する理解を深めることができました。	B
	◇ 職業能力の向上のため、障がいの種別や程度に応じた職業指導、職業訓練などを実施します。	福祉課	就労移行支援等のサービスやハローワークの職業訓練を活用できるよう、相談支援事業所と連携しながら対象者の相談を受けました。	B
(3) 障がい者の就労機会の拡大	◇ ハローワークや商工会との連携により、各企業に対し、障がい者の雇用に関する各種助成制度の周知・啓発活動を行います。	福祉課	自立支援協議会就労部会にて、各企業との連携による障がい者雇用の支援策について検討を行いました。	C
	(4) 利用しやすい公共施設	◇ ノンステップ仕様、フルフラットフロア仕様、乗降時スロープ板装着仕様のバスを導入します。	未来プロジェクト課	ノンステップ仕様のバスを運行しているため達成しました。
	◇ 情報表示等ユニバーサルデザイン仕様の公共交通システムを導入します。	未来プロジェクト課	令和3年4月のバスロケーションシステム導入を目指して検討しました。	B
	◇ 公共施設の新設・改修時には、誰もが使いやすい施設になるようにします。	総務財政課	旧庁舎1階のトイレを和式から洋式に改修するとともに、多目的トイレをオストメイト対応とし、オムツ交換台を設置しました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

I 健康で元気に暮らせるまち 4 社会保障制度を適切に運用する

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 特定健診受診率	%	25.5	65.0	65.0	45.4	39.8	56.1%	61.2%	△		
ii 特定保健指導の実施率	%	42.0	45.0	45.0	38.1	35.6	-15.2%	79.1%	×		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 国民健康保険制度の適正な運用	◇ 制度の改正に対応するため、条例改正やシステム修正を的確に行います。	保険医療課	国・県の動向を注視し、適宜条例改正やシステム改修を行いました。	A
	◇ 制度を十分に理解してもらうため、広報活動や窓口相談等を充実します。	保険医療課	制度周知について定期的に広報誌へ掲載し、窓口相談業務を行いました。	A
	◇ 特定健康診査等を進んで受診できるように環境を整えます。	保険医療課	対象者への個別通知、のぼり旗設置による周知、集団がん検診との同日実施等を行いました。	B
	◇ 戸別訪問、夜間納付相談、納付場所の拡充を検討し、収納率の向上を図ります。	保険医療課	収納課と連携し、クレジット収納及びスマホ決済の実施など収納業務を強化し、収納率の向上を図りました。	A
(2) 介護保険制度の適正な運用	◇ 介護保険制度は高齢者の安心を支える仕組みであることを理解してもらうために、パンフレットや広報などを活用し制度の周知に努めます。	高齢者支援課	介護保険制度について、パンフレットを活用し窓口で案内をしたり、広報、ホームページ及び郵送物に制度のチラシを同封するなど周知に努めました。	B
	◇ 高齢者保健福祉計画に基づき、介護保険施策の推進を図るとともに歳入の確保に努め、健全な介護保険財政の運営に努めます。	高齢者支援課	介護保険料の徴収及び国庫、県費等の負担金及び補助金の適正な申請、取得を行い健全な介護保険財政の運営に努めました。	A
(3) 後期高齢者医療制度の適正な運用	◇ 制度の周知を図ります。	保険医療課	広報やホームページでの周知に加え、当初賦課や保険証送付の際には制度の分かりやすいチラシを作成し、同封しました。	A
	◇ 戸別訪問、夜間納付相談、納付場所の拡充を検討し、収納率の向上を図ります。	保険医療課	収納担当課や介護保険担当課と連携し、窓口や電話で滞納者と折衝できる機会を逃さないような対応を実施しました。	A
(4) 福祉医療制度の適正な運用	◇ 子ども医療を始めとする福祉医療助成制度の拡充を図ります。	保険医療課	平成24年1月から子ども医療の対象者を18歳年度末まで拡大し、また精神障害者医療については平成26年8月から精神障害者保健福祉手帳1・2級の人に対して通院・入院の全疾病で自己負担額を現物給付に拡大しました。	A
	◇ 福祉医療費の助成額の増加が予測されるため、助成制度の適切な運用を図ります。	保険医療課	年々増加する医療費助成費に対して適切に予算を要求していくとともに、元号改正時に子ども医療証を全受給者へ送付する際に、適切な医療の受診や高額療養費の回収事務への協力をチラシで案内しました。	A
(5) 国民年金業務の適正な運営	◇ 国民年金業務の届出や申請書類等を適切に処理し、事務の適正な運営に努めます。	保険医療課	申請書類を適切に処理し、迅速に年金事務所へ進達しました。	A
	◇ 日本年金機構との協力連携を強化し、窓口や電話による納付・諸手続に関する相談や広報の活用による国民年金制度の周知に努めます。	保険医療課	制度周知について定期的に広報誌へ掲載し、個人情報の取扱いに注意しながら日本年金機構との協力連携を強化しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

I 健康で元気に暮らせるまち

5 福祉サービスを充実するとともに地域との連携を図る

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 高齢者への福祉サービスに満足している町民の割合	%	14.5	20.0	25.0	18.2	-	25.5%	72.8%	△		
ii ボランティアセンター登録者数(個人・団体)	人	823	935	1,045	716	858	4.3%	82.1%	△		
iii 介護予防サポーターの各地区での活動箇所数	箇所	0	3	6	5	6	-	100.0%	◎		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 介護サービスの充実	◇ 生きがいのある生活ができるように健康づくりや介護予防の知識の普及・啓発に努めるとともに、介護予防サポーターなどと連携し予防事業を実施します。	高齢者支援課	介護保険制度に沿って健康づくりや介護予防の知識の普及啓発のための教室を開催し、介護予防サポーターと連携し、教室の運営を行いました。	A
	◇ 認知症サポーターや各地域で活動する団体と連携を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように見守ります。	高齢者支援課	自治会、老人クラブ、小中学校等で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する理解者を増やしました。理解者を増やしたことで、生活の様々な場面で認知症高齢者の見守りができる体制となりました。	B
(2) 高齢者の社会参加	◇ 高齢者が気楽に集える場を増やし、生きがい活動に対して支援します。	高齢者支援課	住民主体の通いの場の立ち上げ支援や地区のコミセン等で地区と共同で教室を開催し通いの場の体制を整えました。	A
	◇ 高齢者を主体とした異世代交流の場を設けます。	高齢者支援課	老人クラブの活動や、高齢者に限らず異世代が集える場の立ち上げ支援、住民主体の団体への補助金助成を実施しました。	B
	◇ 高齢者の生きがいづくりとして、シンポジウムを開催します。	高齢者支援課	成年後見制度、認知症及び在宅医療・介護の連携をテーマとしたシンポジウムを実施しました。	A
(3) 高齢者の福祉サービスの充実	◇ 地域で支え合うために、見守りや声かけなどのボランティアが活動できる環境を整えます。	高齢者支援課	地域に向き地域の人との繋がりをつくらせたり、地域のボランティア活動が充実して行えるよう高齢者ボランティアポイント制度の要綱を改正しました。	B
	◇ 家族介護者のニーズを把握し、福祉施設や福祉サービスの内容を充実します。	高齢者支援課	高齢者福祉計画策定時にアンケート調査を実施し、家族介護者のニーズを把握しました。また、地域密着型サービス事業所の開設など介護サービスの充実を図りました。	B
(4) 地域福祉活動の推進	◇ 町民、福祉団体、関係機関と連携・協力しながら、地域で支え合いのできるまちづくりを推進する体制を確立します。	福祉課	子ども、高齢者、障がい者等に関する各種協議会を活用しながら、連携・協力していく支援体制を整えました。	B
	◇ 民生委員児童委員による高齢者等の孤立・孤独への見守り支援など地域に根ざした活動を進めます。	福祉課	民生委員児童委員によるひとり暮らし高齢者等の見守り活動を継続実施しました。また、民生委員児童委員が地域の困りごとの早期発見や必要な支援へのつなぎ役を担えるよう活動を支援しました。	B
	◇ 地域ニーズの把握を進め、ボランティア団体の育成・連携を進めていきます。	福祉課	町社会福祉協議会において、ボランティア団体や地域での集まりの際に地域のニーズの把握に努め、団体への助成や各種相談と講座開催により団体の育成・連携を推進しました。	B
	◇ 災害時などの緊急時には、迅速かつ的確な支援が行える体制を整備します。	福祉課	避難行動要支援者名簿の整備や更新を進め、支援に関わる関係機関と連携を深めるため協議を行いました。	C
(5) 地域福祉体制の充実	◇ 地域福祉推進機関である東郷町社会福祉協議会の運営基盤の強化と活動機能の充実を図ります。	福祉課	町から町社会福祉協議会への補助金を交付することにより、運営基盤の強化をサポートしました。	A
	◇ 東郷町社会福祉協議会や関係団体等と連携を図り、判断能力の不十分な方の権利擁護に取り組みます。	福祉課	町社会福祉協議会において日常生活自立支援事業を実施しました。また、尾張東部権利擁護支援センターと連携しながら成年後見制度の利用を支援しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

I 健康で元気に暮らせるまち 6 安心して子育てができる環境をつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	目標値			実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		現況値 H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年			
i 安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合	%	29.4	35.0	40.0	50.0	-	70.1%	125.0%	◎
ii ファミリー・サポート登録者数	人	306	500	600	297	310	1.3%	51.7%	△
iii 家庭的保育事業(保育ママの人数)	人	0	3	6	0	0	-	0.0%	×

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 子育て支援の充実	◇ 地域の子育て支援の拠点である児童館、子育て支援センターの充実を図ります。	子育て応援課	全小学校区に児童館を設置し、また町内3か所に子育て支援センターを開設し、地域の子育て支援拠点として、育児相談対応や親子で楽しめるイベントなどの事業を実施しました。	A
	◇ 子どもの発達や子育ての不安を解消するため、相談体制の充実を図ります。	子育て応援課	相談員や保健師を配置し、子育ての不安解消に努めました。	A
	◇ 子育て中の家庭をサポートするため、ファミリー・サポート事業の充実・普及に努めます。	子育て応援課	会員確保に向け、広報やHPへの掲載、保健事業でのチラシの配布等周知を実施しました。	B
(2) 子どもが安全・健全に育つための支援	◇ 子ども同士のコミュニケーションの場、また、次代を担うリーダー育成の場として、子ども会活動を支援し子どもたちの健全な育成を目指します。	子育て応援課	単位子ども会及び町子連に対し、補助金を交付し活動を支援しました。また、必要に応じて各単位子ども会や町子連の事業運営方法などについて助言しました。毎年1回1学区開催の夢活動においてイベント実施(コロナ禍除く)や活動の支援を実施しました。	B
	◇ 児童虐待の早期発見及び防止と児童問題に対応するため、児童相談所等関係機関との連携体制を強化します。	子育て応援課	要保護児童対策地域協議会を設置し、児童相談所などの関係機関と連携して対応を実施しました。	A
(3) 母子・父子福祉の充実	◇ 母子・父子家庭に対しての資金貸付制度などを活用した経済的支援の充実を関係機関へ働きかけるとともに、愛知県等関係機関と連携して母子家庭の就労等の相談に応じます。	子育て応援課	尾張福祉相談センターの母子・父子自立支援員による出張相談を月1回実施、キャリアカウンセラーによる就業相談も随時行いました。また窓口就業支援講習会等の案内チラシを設置し、希望者へ案内を実施しました。	B
(4) 保育サービスの向上	◇ 働きながら子育てをしている親を支援するため、病気の回復期にある子どもを安心して保育できる場づくりを進めます。	こども保育課	東郷町に隣接する日進市の日進おりど病院で病気からの回復期の子ども・風邪などの比較的軽い病状の子どもを保育を実施しました。	A
	◇ 保育園入園希望者の増加に対応するため、家庭的保育事業等の導入を検討します。	こども保育課	子ども・子育て新制度の地域型保育事業である小規模保育事業を公立で1か所、私立で3か所整備し、3歳未満児の保育の受け皿を確保しました。	A
	◇ 子どもの社会性を高めるため、地域とのふれあい交流や保育サービスの充実と努めるとともに、保育士の研修などを実施し、保育サービスの向上を図ります。	こども保育課	行事に地域住民の方に参加いただき、園児とふれあい交流を行いました。保育指針の改定などを踏まえた「子ども中心の保育」を行うため、研修を実施しました。	A
(5) 保育園・幼稚園の施設の整備	◇ 園児の健全な育成を図るため、保育園の施設を整備し、私立幼稚園については、施設整備に対する助成の充実を図ります。	こども保育課	中部保育園の園舎の一部を建替え、旧諸輪保育園と旧上城保育園を統合し、私立の東郷あやめ保育園の整備を支援しました。町内の私立幼稚園については、運営費として補助金を支給しました。	A
	◇ 就学前の教育・保育を一体として捉え、幼稚園と保育園を一元化した施設について検討します。	こども保育課	民間保育所の認定こども園への移行基準を定め、必要な保育の受け皿を確保する等の基準に沿って、東郷あやめ保育園が認定こども園「東郷あやめこども園」に移行しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る

①「達成度」の評価区分

- ◎: 令和2年度目標数値達成
- : 平成27年度中間目標達成
- △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 小中学校の教育内容や教育環境に満足している町民の割合	%	19.3	25.0	30.0	22.6	-	17.1%	75.3%	△		
ii 学校ボランティア登録者数	人	151	240	330	237	212	40.4%	64.2%	△		
iii 中学校不登校生徒割合	%	2.4	1.9	1.7	2.8	4.0	66.7%	-228.6%	×		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分

- A: 十分に達成している
- B: まあまあ達成している
- C: あまり達成していない
- D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 家庭や地域と連携した学校教育の充実	◇ 児童生徒が、学校生活を明るく元気に送れるように、保護者及び地区の協力のもと、地域の人材等を活用し、積極的に学校の教育活動、環境整備などを行う学校ボランティア登録制度を進めます。	学校教育課	平成24年度に学校支援ボランティア制度を立ち上げ、登下校時の見守り活動、草刈り作業等、学校活動の多くの場面で、ボランティアの協力を得る事ができました。	A
	◇ 各学校は地域や児童生徒の実態や特性を踏まえ、社会活動体験など各学校の創意工夫を生かした教育活動を推進します。	学校教育課	地域や児童生徒の実態や特性を踏まえ、社会活動体験など各学校の創意工夫を生かした教育活動に取り組みました。	A
	◇ 「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する上で、重要な役割を担う家庭の教育力を向上するため、家庭教育に関する講座の開催など普及・啓発活動を充実します。	学校教育課	「家庭科」を中心に、家庭教育力を高めたり、外部講師を招いての講座等を行いました。	B
(2) こころとからだの健康教育	◇ 人間性豊かな児童生徒を育成するため、教育活動全般を通して道徳教育を行い、こころの教育の充実を図ります。	学校教育課	道徳の授業だけでなく、学校生活全般に渡り、こころの教育の充実を図りました。	B
	◇ 児童生徒の健康増進、体位、体力の向上を図るとともに、生涯において運動に親しむ資質を育成するため、体育指導の充実と、学校と家庭・地域との連携による食育指導の充実を図ります。	学校教育課	各学校において、健康増進、体力向上等を図るための工夫を行いました。また、食に関する意識を高め、家庭・地域と連携するなど食育指導の充実を図りました。	B
	◇ 学校における児童生徒及び保護者の心配事・教育相談を充実するとともに、不登校児童生徒に対しては、適応指導教室を通じ、自立を促し、集団への適応力を育成します。	学校教育課	心の教室相談員を全小中学校に配置し、また県よりスクールカウンセラーが配置され、保護者児童生徒の相談に応じました。また、学校教育課にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の家庭環境を含めた総合的な相談体制を構築しました。適応指導教室では、集団への適応力を育成する取組を行いました。	A
(3) 学校教育環境の整備・充実	◇ 施設の長寿命化及びバリアフリー化を目的とし、老朽化した学校施設の整備を計画的に進めます。	学校教育課	平成29年度に策定した東郷町学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設改修を進めるよう取組みましたが、施設数が多く、整備に多額な費用がかかることから、計画どおり施設改修が進んでおりません。	B
	◇ 児童生徒が本に親しむことができるように、学校図書館の電算化及び図書館補助員の配置を行い、学校図書館を充実します。	学校教育課	学校図書館は、電算化できておりません。学校図書館の電算化には、システム導入の他、既存図書の電算化作業も伴うため、財源の確保を慎重に行う必要があります。また、平成27年度より全校に1人ずつ学校図書館司書教諭補助員を配置しました。	B
	◇ 児童生徒の教育活動に教員が集中できるよう、教員補助員の配置を進めます。	学校教育課	学校図書館司書教諭補助員、給食配膳員、用務員、学級運営改善対応員、学校生活介助員、非常勤講師及び養護教諭補助員を配置して、教員が教育活動に集中できるよう努めました。	A
(4) 放課後児童対策の実施	◇ 子どもたちに安全・安心な居場所を提供するために学校施設を利用し、学習支援を始め、学年の異なる子ども同士の交流、地域の大人との交流、様々な体験活動などを通じて児童の健全育成を図ります。	子育て応援課	町内の全6小学校区で放課後子ども教室を実施しました。	A
	◇ 昼間、仕事などの理由により保護者が家庭にいない児童に対し、学校授業終了後、児童館で生活や遊びを指導し、児童の健全育成を図ります。	子育て応援課	町内の全6小学校区で放課後児童クラブを実施し、就労家庭の支援として、児童が安全に生活し、遊びの時間を提供しました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 教養講座などの生涯学習の機会に満足している町民の割合	%	13.2	19.0	24.0	15.5	-	17.4%	64.6%	△		
ii 地域での生涯学習講座の開催数	地区	0	5	10	10	1.0	-	10.0%	△		
iii 60歳以上の講師登録者数	人	50	60	70	69	124	148.0%	177.1%	◎		
iv 生涯学習講座の受講者数(1講座当たりの受講者数)	人	16	20	25	14	9.0	-43.8%	36.0%	×		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 参加しやすい講座の開催	◇ 町民ニーズを把握し、老若男女誰もが参加意欲が持てるような講座を開講します。	生涯学習課	受講希望者が定員を超える講座がある一方、受講者数が乏しく追加募集を行った講座もあるため、受講者にアンケートやニーズの把握を行うことができませんでした。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1講座しか開講できませんでした。	C
	◇ 町民ニーズにあった講座が開催できるように、登録講師数を増やします。	生涯学習課	ジョイフル、HPIに講師登録申請の掲載をしました。	B
	◇ 魅力ある生涯学習に出会いきっかけづくりとして、初心者向けの講座を積極的に開講します。	生涯学習課	各種初心者向け教室(油絵教室、基礎英会話、水彩画教室、シニア向けスマートフォン教室)を企画し、初心者にも親しんでもらえる講座を開講しました。その他にも「初心者向け」とは表記してはいたませんが、初心者でも十分満足できる内容の講座を開講しました。	B
(2) 地域で活躍できる環境づくり	◇ 現役時代に得た経験やノウハウを講師として活用できるように、シニアを対象とした講師養成講座を開催します。	生涯学習課	対象をシニアに限定した講師養成講座の開催はしていないため達成できませんでした。	D
	(3) 多様な生涯学習講座の開催	◇ 地域のコミュニティセンターなどに出向き、出張講座などを開催します。	生涯学習課	出張講座を開催していないため達成できませんでした。
◇ 地域からの要望により、講座の講師派遣や運営をサポートします。		生涯学習課	地域と連携した講座を開催したため達成しました。	B
(4) こころの豊かさを育てる機会の充実	◇ 町民ニーズを把握し、優れた文化芸術に直接ふれあうことができるように、文化芸術事業の充実を図ります。	生涯学習課	事業実施後にアンケートを実施し、町民ニーズの把握に努め、幅広い世代にとって魅力ある事業を企画し開催しました。	B
	◇ 様々な知識や情報に接することができるように、図書館の蔵書や資料の充実を図ります。	生涯学習課	年1回の蔵書点検及び毎月の管理整理を行い、適正な蔵書管理に努めました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む

①「達成度」の評価区分

- ◎: 令和2年度目標数値達成
- : 平成27年度中間目標達成
- △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年			
i 文化財の継承・保存に満足している町民の割合	%	12.4	18.0	23.0	12.6	-	1.6%	54.8%	△
ii 町内文化財数	件	25	26	27	27	27	8.0%	100.0%	◎
iii 文化財めぐり講座の参加人数	人	25	30	30	20	0.0	-100.0%	0.0%	×

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分

- A: 十分に達成している
- B: まあまあ達成している
- C: あまり達成していない
- D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 郷土資料館の充実	◇ 展示物と展示方法の検証を行い、文化財に対する町民の関心を高めます。	生涯学習課	寄贈品を適宜受け入れ、展示物と展示方法の検証をし、町民の関心を高めるようなPRを継続して行いました。	B
(2) 文化財保護意識の高揚	◇ 無形文化財や民俗文化財を後世に伝えるための発表会を企画します。	生涯学習課	各伝統文化子ども教室で学んだ子どもたちが一堂に会する伝統文化発表会を開催しました。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。	B
(3) 文化財の保存と継承	◇ 郷土資料館で、常設展示と企画展示を開催し、身近に郷土の歴史や文化などに親しめる機会を増やします。	生涯学習課	常設展示のガイドツアーは新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できませんでしたが、通常は郷土の歴史や文化に親しめる機会を幅広い世代に提供しました。 一方、企画の展示は人材の不足により時間が割けていないため達成できませんでした。	C
	◇ 地区と協力し、町内に眠る文化財の発見及び保存に努め、無形文化財の継承を行います。	生涯学習課	無形民俗文化財保存団体3団体へ補助金や太鼓修繕費を交付し、継承を支援しました。	B
(4) 文化団体の活動促進	◇ 本町の地域文化の振興を図るため、文化団体の活動を支援します。	生涯学習課	文化協会、東郷音頭保存会等へ補助金の交付及び助言により活動を支援しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年			
i 定期的にスポーツ・運動をしている町民の割合	%	34.1	40.0	45.0	41.9	-	22.9%	93.1%	○
ii 総合型地域スポーツクラブ種目数	種目	0	1	3	1	1	-	33.3%	○
iii 町民レガッタに参加する町内クルー数	クルー	65	75	85	80	0.0	-100.0%	0.0%	×

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 生涯スポーツの推進	◇レガッタのさらなる普及のため、ボート体験やボート教室などの充実を図ります。	生涯学習課	町主催のボート体験会やボート教室に加え、令和元年より、日進市と合同で開催をする株式会社デンソーボート部が講師を務める「日本代表が教えるボート教室」、また、高嶺小学校6年生を対象に総合的な学習の時間としてボート体験を実施したことにより、子どもを中心に町民がボートに触れることができる機会の充実を図りました。	A
	◇子どもから高齢者まで誰もが参加できるイベントを開催します。	生涯学習課	東郷町スポーツ協会やTOGOスポーツクラブを中心とし、種目や対象年齢など多種多様なイベントの実施や、指定管理者の民間活力の積極的活用により、自主事業として多くの事業を実施しました。	B
	◇生涯を通して気軽にスポーツを楽しめる環境をつくります。	生涯学習課	町教育委員会・町関係団体が主催する各種大会・行事の参加率の向上のため、広報紙やホームページを活用し、情報の周知を実施しました。	B
(2) 指導者の育成	◇スポーツクラブやその指導者育成のため、研修会や講演会を開催します。	生涯学習課	スポーツ推進委員や体力づくり推進委員などの運動・スポーツ指導者に対し、年2回の研修会を実施しました。また、他市町村委員との交流などを通して運動・スポーツ指導者の質的向上を図りました。	B
(3) 参加しやすい環境づくり	◇家族体力づくりの日やレクスポの日を開催します。	生涯学習課	家族体力づくりの日において、子どもから高齢者まで広く参加を呼びかけ、誰もが楽しめるレクリエーションスポーツの導入・普及を推進し、健康づくりへの支援や、スポーツを通じた地域の交流、仲間づくりを促したことにより実施しました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	目標値			実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年			
i 地元の行事やお祭りに参加している町民の割合	%	29.8	35.0	40.0	29.3	-	-1.7%	73.3%	×
ii 地域で共に助け合い、支え合う風土があると考える町民の割合	%	23.1	29.0	34.0	30.3	-	31.2%	89.1%	○
iii 文化産業まつり来場者数	人	18,000	19,000	20,000	18,000	0	-100.0%	0.0%	×

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) コミュニティ活動の推進と活性化	◇ 各地区にコミュニティ広報誌を作成してもらうように働きかけます。	地域協働課	ほとんどの地区でコミュニティペーパーが発行されるようになったことにより達成しました。	B
	◇ コミュニティ活動に対して支援します。	地域協働課	コミュニティ活動に対し補助金を交付し、コミュニティ活動の活性化を支援しました。	A
	◇ 各地区お互いに刺激し合えるよう、活動事例集を作成します。	地域協働課	駐在員会議で各区・自治会の活動について意見交換等を行いました。活動事例集は作成していないため達成できませんでした。	C
(2) コミュニティ施設の充実	◇ コミュニティ施設の整備に対して支援します。	地域協働課	コミュニティセンター等の建設や改修等に対し、補助金を交付したことにより達成しました。	A
(3) 町民相互の絆を深める	◇ 町民が参加したくなるような魅力あるお祭りを実施します。	産業振興課	文化産業まつりの伝統的な取組に加え、給食で人気のお米のタルトの販売等若い世代の方々をターゲットとした取組を実施しました。	B
		生涯学習課	参加者が右肩上がりで上昇し、魅力ある納涼まつりを開催しているため達成しました。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。	B
	◇ 町民と行政の協働による各種イベントを充実するとともに、町民主体のイベントに対して支援します。	産業振興課	町民等で構成する各種団体等の催物の数について、平成23年度の130から令和元年度は187となりました。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。	A
		生涯学習課	音楽祭inTOGO、伝統文化発表会等を実行委員会形式で町民が主体となり開催しました。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。	B
	◇ 区・自治会が子ども会、老人クラブなど各種団体を巻き込んで、地区町民の交流を促進します。	地域協働課	コミュニティ活動に対し補助金を交付し、コミュニティ活動の活性化を支援しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 6 多文化の人々が共生できる社会をつくる

①「達成度」の評価区分

- ◎: 令和2年度目標数値達成
- : 平成27年度中間目標達成
- △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 国際理解・国際交流の推進に満足している町民の割合	%	4.9	10.0	15.0	6.1	-	24.5%	40.7%	△		
ii 日本語教室の参加者数	人	35	46	60	128	34	-2.9%	56.7%	×		
iii 外国人支援ボランティア活動者数	人	4	6	9	0.0	0.0	-100.0%	0.0%	×		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分

- A: 十分に達成している
- B: まあまあ達成している
- C: あまり達成していない
- D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 多文化共生の推進	◇ 多文化の人々が共生できるように、異文化理解を推進します。	地域協働課	東郷町国際交流協会と協働して、外国人と日本人が集うイベントを開催し、異文化理解の推進を図りました。	B
	◇ 多文化共生ビジョンを作成し、多文化共生の意義や必要性の周知を図ります。	地域協働課	イベント等を通じ、多文化共生の意義や必要性の周知を図りましたが、多文化共生ビジョンを作成しなかったため達成できませんでした。	C
(2) 日本語学習支援等の環境づくり	◇ 日本語学習や日本の生活習慣・文化に対する理解を進めます。	地域協働課	東郷町国際交流協会への委託事業「日本語教室」を開講し、日本語学習や生活習慣・文化に対する理解の推進を図りました。	A
	◇ 多言語により情報を提供します。	地域協働課	役場通訳を活用して広報紙やHPを始め、町の広報物を多言語により提供しました。	A
(3) 国際交流の推進	◇ 国際化の推進役となる人材を育成します。	地域協働課	東郷町国際交流協会へ県等からの情報や研修案内を提供し、他市町の協会との情報交換や研修受講等を行い、国際化の推進を担う人材の育成を推進しました。	B
	◇ 国際交流団体を育成し、国際交流活動を支援します。	地域協働課	東郷町国際交流協会の活動を支援しました。	A
(4) 国際化教育の充実	◇ 国際化の進展に伴い、国際理解教育を推進します。	地域協働課	東郷町国際交流協会と協働して、国際理解推進事業を開催しました。	B
	◇ 新たに転入した外国籍の児童生徒及びその保護者への言葉の支援のため、外国籍通訳者(主にポルトガル語)を学校に派遣します。	学校教育課	町からは外国籍通訳者は派遣していませんが、県からは語学相談員(ポルトガル語・フィリピン語)を派遣してもらい、日本語の指導、生活適応相談、文書の翻訳等を行いました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち 7 青少年の健全な育成を進める

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年			
i 青少年の健全育成に満足している町民の割合	%	10.3	16.0	21.0	12.1	-	17.5%	57.6%	△
ii 地区と行政が合同で行う青少年健全育成活動地区数	地区	0	3	6	0	17	-	283.3%	◎

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 地域と行政が一体となった青少年健全育成活動	◇ あいさつ運動や啓発活動など地域と町が合同で事業を行い、青少年が健やかに育つ環境を整備します。	生涯学習課	11月の「子ども・若者育成支援町民運動強調月間」で各地区と協力しながら啓発活動や青少年健全育成会表彰式を実施しました。	A
	◇ 青少年が健全に育ち社会に貢献できるように、各地区の青少年健全育成団体の活動を推進します。	生涯学習課	各地区に補助金を交付し、青少年健全育成活動を支援しました。	B
(2) 青少年に対する町民意識の向上	◇ 11月の「青少年健全育成強調月間」に合わせて各地区でイベントや活動を行い、町民の意識を高めます。	生涯学習課	強調月間である11月に各地区で啓発活動を行うほか、青少年健全育成会表彰式を行い、優良青少年や青少年指導者等を顕彰しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

1 まちづくりに参加できる仕組みをつくり、協働のまちづくりを進める

①「達成度」の評価区分

- ◎: 令和2年度目標数値達成
- : 平成27年度中間目標達成
- △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i ボランティアやNPOの活動が活発に行われていると考える町民の割合	%	9.8	15.0	20.0	12.1	-	23.5%	60.5%	△		
ii 区・自治会加入率	%	77	79	81	77	73	-5.2%	90.1%	×		
iii NPO公募提案型事業応募団体数	団体	2	4	4	2	0.0	-100.0%	0.0%	×		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分

- A: 十分に達成している
- B: まあまあ達成している
- C: あまり達成していない
- D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 行政への町民参画機会の拡充	◇ 町民自らが、まちづくりの主役であることを認識し、職員については意識改革を図るなど、町民と行政の双方の協働意識の醸成を図ります。	企画情報課	自治基本条例の主旨について、文化産業まつりにおいて周知ブースを設ける等、町民及び町職員へ周知する取り組みを実施しました。	B
		地域協働課	まちの出前講座や協働によるまちづくり提案型事業等を活用することにより、町民に対し、町民参画意識の醸成を図りました。また、職員については、提案事業を町民と協働で行うことにより、意識改革を図りました。	B
	◇ 町民と行政との対等性や透明性を確保しながら、協働関係が構築できるよう、広報紙、インターネット等様々な方法を活用し、行政の情報を町民目線に立ってわかりやすく、迅速に公開・提供し、情報の共有を推進します。	人事秘書課	広報紙では、令和元年10月に身近で親しみのある紙面となるよう全面リニューアルを行いました。 ホームページを活用し、各課から積極的に情報を発信するとともに、町民の皆様からの意見や提案を受け、町政運営に反映させました。	B
		未来プロジェクト課	ららぽーと愛知東郷内に町の魅力や行政情報を発信するための「LivR TOGO まちの窓口」を開設するとともに、多様なメディアを活用して、本町の魅力を町内外に発信しました。	B
	◇ 町民と行政が情報交換、意見交換を行い、相互理解に努めます。	企画情報課	計画等の策定時にパブリックコメントを実施する等、町民の意見を取り入れる機会の確保に努めました。また、タウンミーティングを実施する等、町民との意見交換の場を設け、相互理解に努めました。	B
	◇ 委員会や懇談会への町民参加を呼びかけ、町民と行政が語り合う機会を一層増やします。	企画情報課	自治基本条例に基づき、各部署に働きかけを行いました。機会の一層の増加には至りませんでした。	C
	◇ 町民、事業者、行政など、主体ごとに役割と責務を明らかにするなど、まちづくりを進める上での考え方や実現していくための“しくみ”を定めた自治体の基本ルールを町民参加でつくりまします。	企画情報課	平成25年6月24日に東郷町自治基本条例を制定し、平成26年1月1日から施行しました。また、施行後5年となる平成30年8月に座談会及び検証会議を実施しました。	A
◇ 町民と行政が対等な立場で協働に当たるよう、町民と行政が支え合う協働のルールづくりを行います。	地域協働課	協働によるまちづくり提案型事業を活用し、町民が行政と協働でまちづくりに参画できるよう事業を実施しました。	B	
(2) 町民活動の支援	◇ 町民が自ら学び、活動する拠点として町民活動センターなどの活用を推進します。	地域協働課	町内の町民活動団体等に対して町民活動センターの活用を促しました。	A
	◇ 町民が自主的に意見交換したり、交流する場を提供します。	地域協働課	町民が会議・打合せする場として、町民活動センターの活用を促しました。	A
	◇ 社会参加活動が活性化するように、活動を支援します。	地域協働課	まちの出前講座、協働によるまちづくり提案型事業等で行政との協働を促進し、社会参加活動を支援しました。	B
	◇ 町民活動団体、ボランティア団体等のネットワークを形成し、交流の場づくりに取り組みまします。	地域協働課	町民活動センターを活用し、町民活動団体に横の繋がりが生まれるよう、交流の場づくりに取り組みました。	B
(3) 区・自治会活動の推進と活性化	◇ 区・自治会への加入を促進するため、区・自治会と町との意見交換に努めます。	地域協働課	各地区に駐在員を配置し、町と自治会との連携を密にし意見交換等を行いました。区・自治会加入率の向上には繋がりがありませんでした。	C

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

2 男女それぞれの個性や能力を生かせる社会をつくる

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 男女差別のない社会が考えられていると考える町民の割合	%	28.5	30.0	35.0	24.0	-	-15.8%	68.6%	×		
ii 審議会等への女性登用率	%	24.7	30.0	35.0	30.0	27.2	10.1%	77.7%	△		
iii 男女共同参画に関する講座・セミナーなどへの参加者数	人	88	120	176	431	156.0	77.3%	88.6%	○		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 人権の尊重と男女共同参画を進める意識づくり	◇ あらゆる場において、男女共同参画を推進し、男女平等意識を醸成するとともに、男女共同参画を推進する仕組みや体制を確立します。	地域協働課	第2次男女共同参画プランを作成し、男女共同参画社会の実現に向けて各種事業を開催することで、男女平等意識の醸成を図りました。	B
	◇ 男女平等意識を町民に浸透させるための教育を推進します。	地域協働課	男女共同参画社会の実現に向けて各種事業を開催し、男女平等意識の醸成を図りました。	B
	◇ 暴力の根絶を目指して、男女が共に互いに立場を理解し、尊重し合えるよう意識の向上を図ります。	地域協働課	第2次東郷町男女共同参画プランの中で、配偶者等に対するあらゆる暴力の根絶を掲げており、DVに対する防止や被害者支援策の取組を進めたことにより意識の向上が図れました。	B
		子育て応援課	尾張福祉相談センターの女性相談員が出張し女性悩み事相談に応じました。緊急の際は、子育て応援課職員にて対応しました。	B
(2) 男女共同参画を進める環境づくり	◇ 男女が共同で参画する地域・家庭づくりを推進します。	地域協働課	イーストピア(男女共同参画情報誌)や、男女共同参画情報コーナー等を通じ、ワーク・ライフ・バランスの必要性を周知しました。	A
	◇ 男女平等の就業環境づくりを推進します。	地域協働課	研修等を通じて、男女の職業生活と家庭生活の両立支援(ワーク・ライフ・バランス)について周知し、男女平等の就業環境づくりの推進を図りました。	A
(3) 計画決定と推進への男女共同参画	◇ 町民と行政との協働の場においても、男女共同参画を進めるため、町の基本的な政策や計画を策定する際に設置する審議会などに積極的に女性を登用します。	地域協働課	町の審議会等における女性委員の登用率が上昇するよう各課に働きかけを行いました。女性登用率の目標値は達成できませんでした。	C

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

3 町民・行政相互の情報共有を推進する

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 広報とうごうを毎号読んでいる町民の割合	%	61.5	67.0	72.0	62.6	-	1.8%	86.9%	△		
ii 町政に住民の意見が反映されていると考える町民の割合	%	5.5	11.0	16.0	6.9	-	25.5%	43.1%	△		
iii 町政モニターの人数	人	未整備	5	10	22	36.0	-	360.0%	◎		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 広報紙、町公式ホームページの充実	◇ 広報紙や町公式ホームページの情報のバランスを考えるとともに、未掲載情報を定期的に洗い出し、町民の視点から作成します。	人事秘書課	ホームページについては、通常コンテンツに加え、とうごうカレンダーなどにまちのイベントを掲載し、情報を充実させました。広報紙については、内容のリニューアルを行い、アンケート結果で町民ニーズの高い情報を充実させました。	B
	◇ 町公式ホームページの多言語化、動画配信、携帯端末用サービス、子ども向けページ、緊急メール、個人向けマイポータル等のサービスの拡大を検討します。	人事秘書課	行政広報番組「とうごうチャンネル」をCCNetで放送するとともに、ホームページからYouTubeを視聴できるようにするなど、動画による情報発信を始めました。広報紙については、スマートフォン向け無料アプリ「マチイロ」で閲覧できるようにして、利便性を高めました。	B
(2) 広聴機会の充実	◇ 町政モニター制度の導入などにより、町民の率直な意見・要望などを的確に把握し、町政に反映します。	人事秘書課	町政モニター制度を整備し、町民がより関心を持つテーマを選定し、公募モニターの方からの意見や評価を把握し、事業の改善等に活用しました。	A
	◇ タウンミーティングの開催案内等の周知方法や内容・開催回数・時間等を見直すとともに新たな広聴機会を検討します。	企画情報課	タウンミーティングの開催にあたり、開催テーマの担当部署において、その都度、テーマに合わせた内容の検討を実施しました。	B
	◇ 情報公開制度に基づく情報公開のほか、行政運営情報の自主的な公表に努めます。	総務財政課	選挙、予算及び入札等に関する情報をHP等にて積極的に公表しました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

4 効率的な行政運営を進める

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分

- ◎:令和2年度目標数値達成
- :平成27年度中間目標達成
- △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 総合的にみた役場窓口の対応に満足している町民の割合	%	45.7	51.0	56.0	39.7	-	-13.1%	70.9%	×		
ii 事務改善実績報告件数	件	15	25	30	39	29.0	93.3%	96.7%	○		
iii 住民1,000人当たり職員数	人	6.8	6.5	6.3	6.3	6.3	-7.4%	100.0%	◎		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分

- A:十分に達成している
- B:まあまあ達成している
- C:あまり達成していない
- D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 行政サービスの向上	◇ 町民にとって利用しやすい行政を目指し、総合窓口の設置を検討します。	企画情報課	役場正面玄関に受付を設置し、案内係を1名配置しました。	B
	◇ 町民の意見や自治体EAの考え方を取り入れ、ICTを活用した窓口業務の見直しを進めます。	企画情報課	業務効率化に向けRPAを導入するなど、窓口業務の見直しを進めました。	B
	◇ 多様化するニーズに対応するため、窓口開庁時間の延長を検討します。	企画情報課	住民利便性の向上を図るため、第2・第4土曜日の午前中に住民課窓口を一部開設しました。	B
	◇ 「民間でできることは民間へ」の視点に立ち、指定管理者制度やPFI、市場化テストの導入などを積極的に進めます。	企画情報課	一部の公営施設について、指定管理者制度及びPFIを採用しました。	A
(2) 職員の育成・管理	◇ 人材育成に重点を置いた新たな研修基本方針を策定し、研修を体系化し計画的に実施します。	人事秘書課	東郷町職員研修基本方針及び研修計画に沿って実施しました。	B
	◇ 組織の若返りに伴う経験不足を補うとともに、職員一人ひとりの業務に対する意識や能力を向上させるための人材育成制度を確立します。	人事秘書課	人材育成基本方針に沿って実施しました。	B
(3) 行政組織の適正化	◇ 的確な事務量把握に努め、適正な人員配置を行います。	人事秘書課	定期的に人事ヒアリングを行い、各課の状況把握に努めました。	B
	◇ 事務の効率化を図り、地方分権や高度化・多様化する行政需要に的確に対応できる柔軟で機動力のある組織・機構の編成に努めます。	企画情報課	世間の動向に注視し、行政運営の状況に応じて、組織機構の見直しを実施しました。	A
(4) 行政評価の充実	◇ 総合計画の施策レベルでの評価を検討するとともに事務事業評価以外の外部評価を導入し、成果重視の行政を進めます。	企画情報課	行政評価により事業レベルでの評価を実施しました。	A
	◇ 行政評価の結果を予算に的確に反映します。	総務財政課	予算編成方針に事業のスクラップアンドビルドを取り入れました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

5 広域連携の強化を進める

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分

- ◎:令和2年度目標数値達成
- :平成27年度中間目標達成
- △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値	目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年			
i 近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野で、新たに連携が行われた件数	件	4	5	5	9	9.0	125.0%	180.0%	◎
ii コミュニティバスを乗り入れている市の数	市	2	4	4	2	1	-50.0%	25.0%	×

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分

- A:十分に達成している
- B:まあまあ達成している
- C:あまり達成していない
- D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 一部事務組合の効率的な運営	◇ 町民サービスの向上と町民の利便性を確保するため、関係市との連携を密にして、一部事務組合の効果的、効率的な管理運営に努めます。	安全安心課	【尾三消防組合】平成30年度に長久手市と豊明市が加わったため、広域化のスケールメリットを活かした、効率的な管理運営が実施できるように努めました。	B
		環境課	【尾三衛生組合】各市町人口の増加により、ごみ焼却量は増加傾向のため、日進市とみよし市と継続して協議し、ごみの減量、資源化に努めました。 【日東衛生組合】平成30年度末をもって日東衛生組合は解散しましたが、し尿等の処理がなくなることはないため、継続して日進市と協議を行いました。	A
		下水道課	【愛知中部水道企業団】関係市町が参集される会議等を活用し、一部事務組合の効果的、効率的な事業の管理運営の実施を働きかけました。	A
	企画情報課	尾三消防組合について、平成30年4月から構成市町に豊明市・長久手市を加え、消防の広域化を図りました。	B	
(2) 公共交通機関の広域的な連携	◇ 利用しやすいコミュニティバスとするため、コミュニティバスの市町間相互乗り入れについて検討・研究します。	未来プロジェクト課	近隣市のコミュニティバスの相互乗り入れについて、日進市・みよし市・長久手市・豊明市と「尾三地区自治体間連携推進会議」を開催し、検討・研究しました。	A
	◇ 法定協議会を活用し、広域的な交通手段の充実を図ります。	未来プロジェクト課	公共交通ネットワークの充実を図るため、東郷町地域公共交通会議の委員である豊明市や日進市、みよし市とともに検討しました。	A
(3) 広域的な連携による町民サービスの向上と行政運営の効率化	◇ 町民サービスの安定供給やサービスの向上のため、行政機関の共同設置や一部事務組合拡大設置を検討するとともに、救急医療体制の強化を始め、公共施設利用の共有化や火葬場の利用など、効率的な行背運営の観点からも、新たな広域連携を検討します。	企画情報課	広域連携を推進するため、日進市・みよし市・長久手市・豊明市と「尾三地区自治体間連携推進会議」を開催し、新たな広域課題について研究を行いました。また、名古屋市緑区・天白区とは、互いの区民・町民まつりへ自治体ブースを出展する等の自治体間交流を実施しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

6 財政の健全化を進める

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 健全な財政運営に満足している町民の割合	%	7.1	13.0	18.0	11.3	-	59.2%	62.8%	△		
ii 実質公債費比率	%	8.1	7.5	7.0	3.2	2.0	-75.3%	554.5%	◎		
iii 財政調整基金の残高	億円	6.7	10.0	15.0	11.9	10.9	62.7%	72.7%	○		
iv 収納率(町税全体)	%	93.8	94.3	95.0	98.3	98.7	5.2%	103.9%	◎		
v 経常収支比率	%	89.5	85.0	80.0	89.1	89.2	-0.3%	3.2%	△		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 自主財源の確保	◇ 広報・ホームページなどによる税情報のPRに努めます。	税務課	税制改正ごとにその内容をホームページに掲載しました。また、表記や表現について分かりやすくなるよう見直しました。確定申告時期には電子申告を推進するため掲示等案内を作成しました。	A
	◇ 町税等における納期内の納税率向上を目指し、納税啓発に努め、効率的な催告手法を導入します。	収納課	平成23年度から令和元年度まで設置された愛知県豊田尾張東部地方税滞納整理機構に参加したことにより、積極的な滞納整理の推進及び職員の徴収技術の向上が図られたことに加え、コンビニ納付をはじめとする納税者のライフスタイルの多様化に対応した納税手段の確保に努めました。	A
	◇ 公共施設の利用料金の見直しによる受益者負担の適正化を図ります。	生涯学習課	指定管理の更新の時期に合わせて利用料金の見直しを行いました。	A
	◇ 工場誘致に向けて、情報発信、優遇措置等を検討します。	産業振興課	企業立地促進条例に基づく奨励措置について広報紙に掲載し情報発信を行いました。	B
	◇ 子育て支援施策、雇用施策などと連携しながら、定住人口の安定化を図ります。	企画情報課	平成28年3月に今後の人口動向及び戦略を示す「東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年3月に改訂(第2期東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略)しました。	B
(2) 総合計画や行政評価と連動した予算編成	◇ 現在の枠配当予算の方式を検証し、より効果的な方法を検討します。	総務財政課	平成31年度予算編成より、全事業を査定する個別査定方式を取り入れました。	A
	◇ 行政評価や実施計画との連動をもとに、選択と集中による戦略的な予算編成を行います。	総務財政課	中長期的な財政計画を作成し、町民及び町の未来のために必要な事業を選択し予算編成を行いました。	A
(3) 町有施設の長寿命化	◇ 学校や保育園園舎を始めとする既存施設等の老朽化に対応するため、限られた予算の中で、町有施設を有効利用するため長寿命化計画を作成します。	総務財政課	町内施設の長寿命化計画は概ね作成されており、計画に基づき長寿命化対策を進めました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

IV 安全で環境にやさしいというおののあるまち 1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 消防や救急の体制に満足している町民の割合	%	30.0	35.0	40.0	11.4	-	-62.0%	28.5%	×		
ii 耐震性貯水槽設置数	箇所	20.0	23.0	25.0	22	22.0	10.0%	88.0%	△		
iii 住宅用火災警報器の設置率	%	70.0	98.0	99.0	83.7	62.0	-11.4%	62.6%	×		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 消防・救急体制の強化	◇ 尾三消防組合に対し、災害・消防・救急時の出動態勢等の機能強化を要請します。	安全安心課	広域化のスケールメリットを活かした出動態勢等の機能強化を要請しました。	A
	◇ 町が設置したAEDを適正に使用できるように、普通救命講習の受講を進めます。	安全安心課	救命率向上のため、消防団及び女性防災クラブ等に普通救命講習の受講を進めました。	B
	◇ 住宅用火災報知器の設置を呼びかけるとともに、防災訓練の強化により防火意識の向上に努めます。	安全安心課	町ホームページ、地区の防災訓練や尾三消防本部が行う防火広報会等で、設置や取替えの呼びかけを努めました。	B
	◇ 緊急車両の進入が困難な狭小道路の洗い出しを進めます。	安全安心課	狭隘道路の洗い出しを進めることができませんでした。	D
(2) 消防団員の資質向上	◇ 消防団員、女性防災クラブ員が活動しやすいように待遇改善に努めます。	安全安心課	平成30年度に消防団活動交付金を創設し、待遇改善に努めました。また、勤務成績不良団員、基本報酬、出動報酬及び交付金額の見直しを検討しました。	B
	◇ 尾三消防組合東郷消防署指導のもと、火災時に迅速な活動ができるように努めます。	安全安心課	東郷消防署員の指導により、各種訓練を実施し、資質向上に努めました。	A
	◇ 消防団の資機材の適切な運用、整備に努めます。	安全安心課	老朽化した資機材を更新し、適切な資機材の管理運用に努めました。	A
	◇ 消防団の活動をPRし、団員の確保に努めます。	安全安心課	町主催イベント等で積極的に消防団のPR、募集啓発に努めました。	B
(3) 消防施設の強化	◇ 老朽化が著しい消防団詰所の改修または建て替えを進めます。	安全安心課	令和3年度の傍示本詰所の解体実施に向け、令和2年度に解体計画を作成しました。	B
	◇ 耐震性貯水槽の新設及び既設無蓋防火水槽の有蓋化に努めます。	安全安心課	令和2年度に既設の無蓋防火水槽の有蓋化を2か所実施しました。	B
	◇ 消防水利の整備を推進します。	安全安心課	消防水利の新設及び改修を計画的に実施しました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

IV 安全で環境にやさしいというおののあるまち

2 犯罪や交通事故の少ない安全なまちをつくる

①「達成度」の評価区分

- ◎: 令和2年度目標数値達成
- : 平成27年度中間目標達成
- △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 防犯対策に満足している町民の割合	%	28.1	34.0	39.0	29.3	-	4.3%	75.1%	△		
ii 交通安全対策に満足している町民の割合	%	19.7	25.0	30.0	25.2	-	27.9%	84.0%	○		
iii 普段から防犯に心がけている町民の割合	%	63.9	69.0	74.0	65.1	-	1.9%	88.0%	△		
iv 人口100人当たり交通事故(人身事故)件数	件	0.72	0.57	0.47	0.33	0.3	-62.5%	180.0%	◎		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分

- A: 十分に達成している
- B: まあまあ達成している
- C: あまり達成していない
- D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 警察・行政・地区・学校などの連携体制の強化	◇ 不審者等の情報を地域・学校などで共有し、パトロールや広報活動を実施するなど、地域の防犯意識の向上に努めます。	安全安心課	いただいた情報を東郷町の地域安心メールで情報発信し、不審者情報など、各地区の青パトに巡回強化の依頼を行いました。	A
	◇ 自主防犯団体の活動を支援します。	安全安心課	愛知県と共同し、防犯ボランティア講習会を開催し、各地区自主防犯団体の育成、支援に努めました。	B
	◇ 交通違反者に対する指導及び取締りの強化について、警察に要請します。	安全安心課	愛知警察に依頼し、横断歩道での歩行者保護などルール違反の取締り強化を行いました。	B
(2) 防犯灯などの充実	◇ 安全で住みよいまちをつくるため、防犯灯の点検に努めます。	安全安心課	防犯灯の点検を実施し、安全安心な環境整備に努めました。	A
	◇ 安全な環境を確保し、犯罪を未然に防ぐため、防犯灯整備が不十分な地域について、順次整備するよう努めます。	安全安心課	各地区、区・自治会から出された要望書を精査し、必要に応じて整備を行いました。	A
(3) 交通安全町民意識の向上	◇ 高齢者ドライバーの増加、飲酒運転や無謀運転など規範意識が低下しているため、交通安全啓発活動を推進し、自己の未然防止に努めます。	安全安心課	交通安全教室をはじめ、警察と民間企業と共同し、イベントなどで交通安全啓発活動を実施しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち 3 災害に強いまちをつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 地震や風水害などの防災対策に満足している町民の割合	%	10.2	16.0	21.0	15.3	-	50.0%	72.9%	△		
ii 地震や風水害などの災害に備えている町民の割合	%	35.5	41.0	46.0	39.7	-	11.8%	86.3%	△		
iii 東郷町防災訓練の実施回数	回/年	0	1	1	1	1.0	-	100.0%	◎		
iv 耐震性のある住宅の割合	%	86.0	90.0	93.0	82.9	84.9	-1.3%	91.3%	×		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 安心できる住宅の整備	◇ 宅地の安全性を確保するため、大規模盛土造成地の詳細調査を実施します。	都市計画課	大規模盛土造成地変動予測調査業務により、町内47箇所を調査対象とし、現地踏査や簡易地盤調査、有権者への意見徴収を踏まえ、優先度評価の妥当性を検証するとともに、第2次スクリーニング計画を策定しました。	B
	◇ 耐震診断を促進するため、専門家を派遣し耐震診断を実施します。	都市計画課	耐震診断事業を継続的に実施するとともに、広報等の啓発を行い旧耐震基準の家屋を所有している方に対して耐震診断を促進しました。	B
	◇ 木造住宅の耐震改修費用の一部を補助します。	都市計画課	木造住宅の耐震改修費用の一部補助を継続的に実施するとともに、広報等の啓発を行い旧耐震基準の家屋を所有している方に対して耐震改修を促進しました。	B
(2) 防災訓練の実施	◇ 地域防災計画に基づき、地区と職員による合同防災訓練を実施します。	安全安心課	平成26年度から毎年1回町職員と住民の協働による総合防災訓練を実施しました。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症を勘案し避難所運営訓練を実施しました。	A
	◇ 各区・自治会で避難所開設訓練が実施されるよう支援します。	安全安心課	避難所開設を主眼に置いた総合防災訓練を実施しました。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症を勘案し避難所運営訓練を実施しました。	A
	◇ 各種の訓練を通じて、町民の防災意識の向上や自主防災組織の体制強化を図ります。	安全安心課	各地区防災訓練に町職員が参加し、自主防災組織の体制強化に努めました。	B
(3) 災害活動拠点の整備	◇ 町防災倉庫の改修及び避難所への防災倉庫設置を進めます。	安全安心課	平成30年度には小中学校9校に防災倉庫設置が完了しました。	A
	◇ 災害時のライフラインを確保するため、関係機関と協定を締結します。	安全安心課	関係機関との協定締結を順次進めました。	A
	◇ 災害時用備蓄品を計画的に整備します。	安全安心課	備蓄計画に基づき、計画的な入替えを行いました。	A
(4) 災害時伝達手段の整備	◇ 東郷町防災行政無線のデジタル化を実施します。	安全安心課	平成26年度から町防災行政無線をデジタル化に移行しました。	A
	◇ 各避難所や消防団との通信手段の整備に努めます。	安全安心課	各小中学校に設置しているMCA子局無線に加え、平成30年度には町内の避難所全28箇所に事前設置型公衆電話を設置しました。 各地区消防団と及役場間で画像共有を含む通信ができるIP無線を20機整備しました。	A
	◇ 高度情報通信ネットワークの適切な運用に努め、国や県と情報を共有化します。	安全安心課	職員研修を通して高度情報通信ネットワークの適切な運用を実施しました。 また、令和元年度に市町村防災支援システムを導入したことで、より早い情報共有を行えるようになりました。	A
(5) 河川の治水機能強化と施設の維持管理	準用河川を始め、排水路の計画的な整備に努めます。	都市整備課	準用河川をはじめ、排水路の定期的な浚渫や草刈りを実施しました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち 4 安心して消費生活が送れる体制を整える

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
			H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)			
i 消費者保護対策に満足している町民の割合	%	4.5	10.0	15.0	9.3	-	106.7%	62.0%	△
iv 消費生活相談実施回数	回/月	2	4	8	8	8.0	300.0%	100.0%	◎

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 消費者支援の充実	◇ 消費者問題に対する啓発を行うとともに、消費生活講座等を開催します。	地域協働課	消費者問題に関する啓発を行うとともに、くらしの講座及び消費生活講演会等を実施し、消費者への啓発に努めました。	A
	◇ 消費生活相談の実施日数を拡大するなど、充実を図ります。	地域協働課	日進・東郷消費生活センター東郷相談所の開設及び5市町の連携協定による相互受付を実施することで、相談実施日数を拡大し、充実を図りました。	A
(2) 消費者活動の支援	◇ 消費者団体の育成を支援します。	地域協働課	消費者団体の育成を支援しました。	A
	◇ 消費者活動への支援を行います。	地域協働課	消費者活動への支援を行いました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち 5人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 自然環境の保全や創出に満足している町民の割合	%	20.2	26.0	31.0	14.6	-	-27.7%	47.1%	×		
ii 公害対策などの環境汚染対策に満足している町民の割合	%	16.3	21.0	27.0	12.9	-	-20.9%	47.8%	×		
iii 親水公園数	箇所	2	3	4	2	3.0	50.0%	75.0%	○		
iv 狂犬病予防注射接種率	%	72.2	76.0	80.0	79.1	74.5	3.2%	93.1%	△		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 水辺環境の保全整備	◇ 愛知池、境川緑地、親水公園を魅力ある水辺環境として整備及び維持管理し、町民の憩いの場とします。	都市整備課	愛知池では平成23,24年度及び29年度に植樹祭を行いました。また、草刈りを定期的に行い水辺環境の維持管理を行いました。	A
	◇ ため池を活用した親水公園を整備します。	都市整備課	条例には定めていませんが、平成26年度に押草下池にポケットパークを設置しました。	B
	◇ 河川を利用したウォーキングロードを整備します。	都市整備課	境川の合流点から役場までの春木川沿いにウォーキングロードを整備しました。	B
(2) 環境学習の推進	◇ 子どもたちが環境にやさしい活動を主体的に行い、人と環境の関わりについて学ぶ場を提供します。	環境課	環境学習の場として、子どもエコばんぱくや境川生きものウォッチングを開催しました。子どもたちの興味を引き付ける内容の環境学習講座や環境イベントの充実を図りました。	B
	◇ 緑や生きものなどの自然にふれあうことのできる機会を提供します。	環境課	境川生きものウォッチングを開催し、川の生きものを調べました。	B
(3) 環境保全対策の推進	◇ 公害の発生源である事業者に対する監視・指導を強化するとともに、生活型公害に関する啓発活動を推進し、快適な生活環境の維持に努めます。	環境課	事業者の監視・指導や生活型公害の啓発を行いました。	B
	◇ 河川の水質調査、水生生物調査により、河川環境を定期的に把握しながら、水質浄化に対する意識の向上に努めます。	環境課	河川の水質調査、境川生きものウォッチングを行いました。また、河川の定期的な水質調査を行い、広報等による水質浄化の啓発を継続して実施しました。	B
	◇ 合併処理浄化槽の設置に対して補助することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止します。	環境課	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対し補助を行いました。また、補助制度の周知を継続して行いました。	B
(4) 環境衛生対策の推進	◇ 犬の飼い方教室の開催や、適正な飼育方法の啓発などを通じて、飼い主のモラルの向上に努めます。	環境課	犬の飼い方教室を開催するなど飼い主に対しマナー啓発を行いました	B
	◇ 犬の登録や狂犬病予防注射の実施を啓発し、無登録犬の減少を図るとともに、狂犬病を未然に防止します。	環境課	狂犬病予防法に基づく犬の登録事務や集合注射を実施しました。また、広報等による狂犬病予防注射の啓発を継続して行いました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

6 地球温暖化の防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換を進める

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年			
i 普段から省エネを心がけている町民の割合	%	62.6	68.0	73.0	68.1	-	8.8%	93.3%	○
ii 公共交通機関を利用するようにしている町民の割合	%	20.7	26.0	31.0	18.2	-	-12.1%	58.7%	×
iii 東郷版ISO認定家族数	家族	267	400	500	394	564.0	111.2%	112.8%	△

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 地球温暖化対策の推進	◇ 町民一人ひとりが、地球温暖化防止対策の重要性を認識し、家庭・学校・地域において温室効果ガスの削減に配慮した行動を実践できるよう支援します。	環境課	東郷版ISOチャレンジ100等の普及・啓発を行いました。広報等による啓発を継続して行いました。	B
(2) 東郷町エコプランの推進	◇ 役場も自らが温室効果ガスの大きな排出事業者の一つであるという認識のもと、エコプランに基づき、庁内における温室効果ガス排出量の削減を図り、率先して排出抑制に取り組めます。	環境課	東郷町エコプランを推進し、職員一人ひとりへの環境教育を徹底しました。	B
(3) 自然エネルギーの利用促進	◇ 環境への負荷が少ない自然エネルギーの利用促進のため、太陽光発電システムや太陽熱利用温水器の普及を進めます。	環境課	地球温暖化対策設備導入促進費補助を行いました。	B
(4) エコモビリティライフの推進	◇ 公共交通を利用するエコモビリティライフの実現に向けて積極的に取り組みます。	未来プロジェクト課	愛知県が推進するエコモビリティライフについて、チラシの配布等を行い推進しました。	A
	◇ 公共交通中心の移動手段を推進するエコモビリティライフを普及・啓発します。	未来プロジェクト課	愛知県が推進するエコモビリティライフについて、チラシの配布等を行い推進しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち 7 資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 普段からリサイクルに心がけている町民の割合	%	63.4	69.0	74.0	72.3	-	14.0%	97.7%	○		
ii 処理しなければならないごみの量(1人1日当たり)	g	756	740	720	742	757.0	0.1%	-2.8%	×		
iii 資源化率	%	18.0	20.0	22.0	15.4	13.8	-23.6%	62.5%	×		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 3Rの推進	◇ 限りある資源や物の大切さなどの意識向上を図り、3R活動を推進します。	環境課	エコばんぱくなどの環境学習の機会や全戸配布するごみと資源の分け方・出し方パンフレット、広報紙を通じて3R活動を推進しました。	B
	◇ リサイクルを推進するため、資源回収ができる場所の造設や資源として回収する品目の拡大などを進めます。	環境課	町の資源回収ステーションのみでなく、民間の資源回収場所が充実してきたため、それらを積極的に活用していただけるよう連携やPRに努めました。	B
(2) ごみ・し尿の適正処理	◇ ごみの排出に関する正しい知識の普及啓発に努めます。	環境課	地域の実情に合わせた啓発活動や広報紙のほか、エコばんぱくなどのイベントを通じて子育て世代に正しい知識の普及啓発に努めました。	B
	◇ ごみの分別の徹底や減量化を通して、ごみの適正処理を推進します。	環境課	平成29年10月に不燃ごみを資源ごみとして分別して回収するようにしたほか、水切り袋や雑がみ回収袋の配布などごみの減量化を推進しました。	B
(3) まちの環境美化と不法投棄対策の推進	◇ 清潔な生活環境を保持するため、ごみのポイ捨てや不法投棄に対する監視体制を強化し、環境美化意識の向上に努めます。	環境課	廃棄物減量等推進員や不法投棄パトロール員を効果的に活用し、町内の環境美化に努めました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

1 地産地消により農業の活性化を目指す

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 地産地消の推進に満足している町民の割合	%	11.4	17.0	22.0	18.1	-	58.8%	82.3%	○		
ii 農業の活性化対策に満足している町民の割合	%	7.5	13.0	18.0	11.8	-	57.3%	65.6%	△		
iii 地元の農産物を購入したいと思っている町民の割合	%	52.7	58.0	63.0	41.3	-	-21.6%	65.6%	×		
iv 認定農業者数	人	6	8	10	7	5	-16.7%	50.0%	×		
v 農学校受講者数(1年間)	人	17	20	25	22	16	-5.9%	64.0%	×		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 担い手及び新規就農者の育成	◇ 地域の担い手等への農地の利用集積、拡大を進めます。	産業振興課	担い手の土地利用集積に係る補助事業の実施により、担い手への農地の集積率を上昇させました。	B
	◇ 農業経営が効率的に行われるよう支援します。	産業振興課	施設整備等に係る各種補助事業について、農業者に案内し事業採択へと繋げたこと等により支援しました。	B
	◇ 農学校を運営し、新規就農者を育成します。	産業振興課	農学校を適切に運営し、毎年の修了者から1名程度の新規就農者を輩出しました。	B
(2) 生きがい農業の実践	◇ 農学校を通じて、定年退職者等多様な農業者を育成します。	産業振興課	農学校受講者の年齢条件を20歳以上70歳以下と幅広く設定し、多様な農業者を育成しました。	B
(3) 特産品の開発	◇ 農産物の特産品を開発し、農業の活性化を図ります。	産業振興課	東郷町商工会に対し特産品開発の補助を行い、町の特産品である「愛愛ブランド」の普及及び新たな特産品の開発を支援しました。	B
(4) 地産地消の推進	◇ 学校給食の食材選定に当たっては、できる限り地元食材を活用します。	給食センター	給食で地元食材の提供を積極的に行いました。また、使用する地元食材の種類、提供回数の増加に努めました。	B
	◇ 地産地消を推進するため、農産物直売所の設置を進めます。	産業振興課	東郷軽トラ市を開催し、町内農業者の農産物を町民の皆様が購入する機会を設けました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち 2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 働く場や機会に満足している町民の割合	%	5.6	11.0	16.0	11.4	-	103.6%	71.3%	○		
ii 商工業の活性化対策に満足している町民の割合	%	5.8	11.0	16.0	9.5	-	63.8%	59.4%	△		
iii 新しく誘致できた企業数	社	0	3	6	10	13	-	216.7%	◎		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 商業施設の立地促進	◇ 春木・和合地内における新たな区画整理事業により、商業用地を創出し、商業施設を誘致します。	都市整備課	令和2年9月に「ららぽーと愛知東郷」が開業したことにより達成しました。	A
(2) 町内企業の拡張及び新たな産業の誘致・育成	◇ 諸輪東部地区などに新たな産業拠点の形成を誘導するため、工場の誘致、工業系土地利用の推進に向けて、情報発信、優遇措置等を検討します。	産業振興課	企業立地促進条例に基づく奨励措置について広報紙への掲載等による情報発信を実施しました。	B
	◇ 既存産業の振興を図るため、国や県の施策と連携しながら、新技術・新製品開発などの技術革新の支援、次世代産業への参入の支援を行います。	産業振興課	愛知県新あいち創造産業立地補助金と連携する東郷町内企業再投資促進補助金制度を設置しました。	B
(3) 特産品の商品化への支援	◇ 商工会、農協、農業者等と連携し、現在開発している特産品を商品化し、町の主要な小売店及び全国に販売できるシステムを検討します。	産業振興課	東郷町商工会に対し特産品開発の補助を行い、町の特産品である「愛愛ブランド」の普及及び新たな特産品の開発を支援しました。また、ローゼルに続く特産品の開発のため、町と事業者の連携により新たな特産品を開発しました。	B
(4) 新たな産業を担うNPO等の育成	◇ 新たな産業としてのコミュニティビジネスを担うNPO等を育成します。	産業振興課	本町のコミュニティビジネスの担い手となるNPO法人の情報がなく、育成ができませんでした。	D

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち 3 魅力ある市街地を整備する

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 開発による住宅地の整備に満足している町民の割合	%	12.6	18.0	23.0	16.7	-	32.5%	72.6%	△		
ii 東郷町が住みやすいと感じている町民の割合	%	62.6	68.0	73.0	66.5	-	6.2%	91.1%	△		
iii 住居系市街化区域面積	ha	505	545	555	539	539.0	6.7%	97.1%	△		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 秩序のあるまちの形成	◇ 土地の合理的かつ友好適切な利用の調整を図ります。	企画情報課	必要に応じて土地対策会議を開催し、町意見を取りまとめて土地利用の調整を図りました。	A
	◇ 集落地の住環境の改善を図るため、公共施設の整備・誘導を図ります。	都市整備課	白土・涼松地区計画に基づき、公共施設(道路)の整備を実施しました。	A
(2) 中心核の形成	◇ 土地区画整理事業により、中心核の形成を誘導します。	都市整備課	令和2年9月に「ららぽーと愛知東郷」が開業し、土地区画整理事業においても一区切りを迎えることができたことにより達成されました。	B
(3) 新たな産業拠点の形成	◇ 諸輪東部地区などに新たな産業拠点の形成を誘導します。	産業振興課	企業立地促進条例に基づく奨励措置の活用等により、諸輪東部地区に企業を誘致し、新たな産業拠点の形成を誘導しました。	A
(4) 墓地・火葬場の整備	◇ 今後の動向に応じ、広域的な観点も考慮しながら墓地や火葬場の整備のあり方を検討します。	企画情報課	近隣自治体の状況把握に努めましたが、整備のあり方についての問題解決には至りませんでした。	C
		環境課	整備、運営の手法等について先進事例など調査・研究を進めました。	C

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち 4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 公園や緑地の整備に満足している町民の割合	%	31.6	37.0	42.0	24.6	-	-22.2%	58.6%	×		
ii 近くの公園や広場などを利用している町民の割合	%	21.7	27.0	32.0	21.5	-	-0.9%	67.2%	×		
iii 公園愛護会登録団体数	団体	制度開始	14	28	19	18.0	-	64.3%	○		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 公園・緑地の新規整備及び既存公園の適正な維持管理	◇ 協働による地域密着型の公園・緑地を整備します。	都市整備課	平成25年度に西部2号緑地について、また、令和元年度に上城保育園跡地の公園整備及び令和2年度に(都)上鏡田公園について、地区の住民代表によるワークショップを開催しました。	A
	◇ 既存公園の適正な維持管理を行うとともに、地域のボランティアなどに公園愛護思想の普及を進めます。	都市整備課	平成22年度に公園愛護会制度を制定し、HPや広報誌で募集・紹介し、18団体が登録されたことにより達成しました。	B
	◇ 維持管理について、指定管理者制度の導入を検討します。	都市整備課	東郷町ふれあい広場、樹池親水公園において指定管理者制度を導入しました。	A
	◇ 子どもから高齢者まで誰もが楽しめる施設整備を図ります。	都市整備課	老朽化した施設の更新時においては、幼児用遊具や健康遊具への更新を検討し、設置を行いました。	B
(2) 緑化の推進	◇ 緑豊かな街並みを形成するため、公共施設や公共空地の緑化を推進します。	都市整備課	緑の募金を活用し、公民館や学校施設の緑化を推進しました。	A
	◇ 民有地の緑化を推進するため、町民の緑化運動の推進と自然環境保全意識を向上させます。	都市整備課	県の緑化補助金を活用し、民有地の緑化を推進しました。	A
	◇ 緑の募金運動を拡充します。	都市整備課	募金活動において、対象範囲の拡大や募金期間の延長し、募金運動の拡充を図りました。	A
	◇ 植樹活動を展開します。	都市整備課	平成23、24年度及び29年度に愛知池において植樹祭を開催しました。また、平成25年度に西部2号緑地において植樹祭を開催しました。	A
(3) 水と緑のネットワーク構想の推進	◇ 財政状況に応じて、整備を推進します。	都市整備課	犬のしつけ広場の整備を行いました。が、財政状況が厳しく、更なる整備までには至りませんでした。	C
	◇ 推進に向け、河川管理者や愛知用水など関係機関と調整を図ります。	都市整備課	東郷町グリーンベルトを考える会とともに、犬のしつけ広場の開設、自然観察会や自転車の学校を開催しました。また、前川散策道を設置し、草刈り等を行いました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち 5 美しい街並み景観のあるまちをつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 町民農園開設箇所数(個人開設)	箇所	2	4	6	4	4	100.0%	66.7%	○		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 住宅地の街並み形成	◇ 地区の特性に合わせ、地区計画制度などを活用し、住宅地などのゆとりとうるおいのある景観の形成を推進します。	都市計画課	地区計画制度等を活用することで地域に合った景観づくりを図り、届出内容を審査し良好な住環境の維持、無秩序なまちづくりの防止に努めました。	B
	◇ 町民主体による公園コンクールの実施等、町民パワーを活用した美しい街並みづくりを検討します。	都市整備課	平成26年度の文化産業まつりにおいて「ガーデンコンクール」を開催しました。	B
(2) 農地の景観保全	◇ 耕作放棄地を利用した農園の開設を支援します。	産業振興課	個人開設農園数は増加しましたが、いずれも特に町が支援することなく開設されたものです。	C
	◇ 市街化区域の遊休農地について、所有者に草刈等適正な維持管理を周知するとともに、周囲の環境に適合した都市的土地利用を推進するよう啓発します。	産業振興課	遊休農地について、近隣居住者の方等から生活上支障がある等の相談や通報があった場合は、現地確認の上、農地所有者に適切な保全管理を促す通知をしました。	B
		都市計画課	土地利用の相談があった際には東郷町開発行為及び土地利用に関する条例等を基に適正な利用を啓発しました。	B
(3) 良好な景観の維持	◇ 良好な景観を維持するため、屋外広告物条例で定める大きさ・デザインとなるよう指導に努めます。また、違反屋外広告物の簡易除去やパトロールを充実させます。	都市計画課	はり紙等の簡易除去について、定期的を実施するとともに、屋外広告物条例に基づき適正な指導を行いました。	B
	◇ 伝統的風景や古木・大樹などの維持・保存活動を支援します。	生涯学習課	愛知県緑化推進委員会のふるさと樹木診断事業の実施を希望し、定期的に樹木診断を行いました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち 6 安心して通行できる道路網を整備する

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i 道路の整備に満足している町民の割合	%	23.5	29.0	34.0	16.0	-	-31.9%	47.1%	×		
ii 歩車道境界の段差解消箇所数	箇所	4	28	48	47	60.0	1400.0%	125.0%	◎		
iii 通学路総点検実施小学校区数	地区	2	6	6	9	11.0	450.0%	183.3%	◎		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 都市計画道路の整備	◇ 土地区画整理事業に合わせ、都市計画道路名古屋春木線を整備します。	都市整備課	令和2年9月の「ららぽーと愛知東郷」の開業に先立ち都市計画道路名古屋春木線の供用を開始しました。	A
(2) 歩行者にやさしい道路整備	◇ 安全に歩行者が通行できるように歩道、道路の整備を促進します。	維持管理課	定期的な町内パトロールを行うことで早急に歩道及び道路の危険を察知し対応しました。	B
	◇ 歩行者が安心して通行できるように歩道の縁端部の段差解消を促進します。	維持管理課	地区要望等も考慮しながら、優先順位をつけて工事を実施しました。	B
	◇ 通行に支障がある箇所を把握するため、小学校区単位で交通安全総点検を実施します。	学校教育課	毎年、区・自治会、関係事業者等の協力のもと、1校ずつ交通安全総点検を実施しました。	A
(3) 暮らしやすい道路の形成	◇ 狭小道路の解消のため、地区計画道路の整備を推進します。	維持管理課	建築等により後退用地が生じる際に地権者から後退用地の寄附をいただき、整備を進めました。	B
	◇ ボトルネック交差点を改善します。	都市整備課	町道と合ヶ丘・新池線における神ノ木交差点や大坂交差点に右折レーンを設置しました。	A
	◇ 自転車専用道や専用通行帯を整備します。	都市整備課	自転車通行帯の整備に向けて、令和2年度に条例改正しましたが、県道・町道を含めた町内道路の自転車ネットワーク計画の構築まで至りませんでした。	C
	◇ 計画的に舗装を修繕し、ライフサイクルコストの縮減に努めます。	維持管理課	修繕が必要な場所を総合的に把握し、優先順位をつけることで、計画的に工事を行い、ライフサイクルコストの縮減に努めました。	B
	◇ 夜間の道路交通の安全確保のため、道路照明灯の定期的な点検に努めます。	維持管理課	定期的な点検を実施するとともに、道路照明灯をLEDに取替え、夜間の道路交通の安全確保に努めました。	B
(4) 幹線道路の整備	◇ 自動車交通を円滑にするため、関係機関に整備促進の要望を積極的に行います。	維持管理課	渋滞対策として、国道153号線と県道諸輪名古屋線が交差する北山台五丁目交差点の車線追加について、国や県に積極的に要望しました。	B
	◇ 計画道路の整備については、優先順位や費用対効果を考慮して実施します。	都市整備課	「ららぽーと愛知東郷」の開業に合わせて、愛知県に優先して都市計画道路名古屋春木線を整備するよう継続的に要望を実施し、愛知県により東郷中央土地区画整理区域西側の整備がされました。	B

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち 7 公共交通の利便性を高める

①「達成度」の評価区分
 ◎:令和2年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年(参考)	R2年					
i バスなどの公共交通機関の整備に満足している町民の割合	%	15.8	21.6	26.0	13.4	-	-15.2%	51.5%	×		
ii 巡回バス利用人数	人	127,688	140,000	154,000	179,805	143,738	12.6%	93.3%	○		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 巡回バスの充実と公共交通の利用促進	◇ 町民ニーズを正確に把握し、路線延長・変更等を行い、サービスの向上を図ります。	未来プロジェクト課	令和3年4月にバスターミナルを町の交通結節点とするべく巡回バス路線を再編するため、町民アンケートや利用者アンケート等で意見を聞きながらダイヤや路線について検討しました。	A
	◇ 地域公共交通会議を活用し、利用しやすい環境づくりを推進します。	未来プロジェクト課	地域公共交通会議を活用し、利用しやすい環境づくりを推進しました。	A
	◇ バス及びバス施設のユニバーサルデザイン化・バリアフリー化を促進します。	未来プロジェクト課	ノンステップ仕様のバスを運行しているため、達成しました。	A
	◇ 公共交通の利用を促進するため、車に頼らないライフスタイルへの転換やエコ通勤などを普及・啓発します。	未来プロジェクト課	愛知県が推進するエコモビリティライフについて、チラシの配布等を行い推進しました。	A
(2) 近隣市との連携、広域的な交通手段の充実	◇ 公共交通機関を利用し、近隣市との連携の充実を図ります。	未来プロジェクト課	尾三地区広域公共交通推進会議を活用し、近隣市との連携について研究しました。	B
	◇ 法定協議会を活用し、広域的な交通手段の充実を図ります。	未来プロジェクト課	公共交通ネットワークの充実を図るため、東郷町地域公共交通会議の委員である豊明市や日進市、みよし市とともに検討しました。	A

第5次東郷町総合計画の施策達成状況評価シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち 8 安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める

①「達成度」の評価区分
 ◎: 令和2年度目標数値達成
 ○: 平成27年度中間目標達成
 △: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		実績値 ※		増加率	達成率	達成度
		H23年	H27年	R2年	H30年 (参考)	R2年					
i 下水道の整備に満足している町民の割合	%	38.8	44.0	49.0	28.0	-	-27.8%	57.1%	×		
ii 水洗化率	%	84.3	85.0	90.0	94.2	94.8	12.4%	105.3%	◎		
iii 公共下水道供用面積(市街化区域)	ha	440.4	501.3	516.0	494.7	526.6	19.6%	102.1%	◎		

※ 実績値に「-」のある指標については、平成30年度に実施した住民意向調査で得た数値を実績としています。

②「達成度」の評価区分
 A: 十分に達成している
 B: まあまあ達成している
 C: あまり達成していない
 D: まったく達成していない

② 施策の達成状況と評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の評価	達成度
(1) 水洗化の推進	◇ 供用区域の水洗化率向上のため、啓発活動を推進します。	下水道課	供用開始から一定期間を経過した地区の下水道への未接続者に対し、文書送付や戸別訪問により下水道への接続のPR活動を実施しました。	A
(2) 市街化区域の下水道整備	◇ 下水道未整備地区を解消し、下水道を利用できる環境整備を促進します。	下水道課	涼松地区や白土地区の一部を始め、未整備地区の整備を実施しました。	B
(3) 下水道の維持管理	◇ 長寿命化計画に基づき耐用年数を考慮に入れた計画を策定し、実施します。	下水道課	既に整備した管渠等の設備について、安定した下水道経営も考慮し、ストックマネジメント計画に基づき、施設の老朽化対策を実施しました。	B
(4) 上水道の安定供給	◇ 愛知中部水道企業団に対し、老朽施設の更新や耐震補強整備を要請します。	下水道課	愛知中部水道企業団に対し、地震等の災害時にも安定して水道水の供給ができるように老朽化した施設等の更新や耐震化整備について要請しました。	B
	◇ おいしく安全な水を安定供給していくため、アクア・シンフォニー計画を推進します。	下水道課	愛知中部水道企業団が策定したアクア・シンフォニー計画の推進を要請しました。	B